

平成22年1月度臨時街づくり委員会議事録

日時：'10-1-28（木）19：30～22：00

場所：Serio（Fresco）2階貸教室

出席者：雨宮、橋本、奥村、中井、杉本、竹吉、戸所、乾（欠席）森

議事内容：

今回の臨時委員会は雨宮会長の指名による9名の委員が集まり、今後の街づくり委員会の進め方など忌憚のない率直な意見交換を行った。従って本議事録は今回指名の委員のみに配布する。他の委員に対しては2月度定例委員会で公表したもののみ、議事録にして配布する。

1. 新たな会議室について

今回使用した貸教室は、西本さんの所有物件で、ご厚意により使用させていただいた。

20名程度は収容可能で、使用時間帯の制限もないため、今後定例会、検討G会など必要に応じて、使用をお願いすることとした。（使用料1000円/回）、市民センターの会議室も第1、第3木曜日を22年度年間を通じて確保しておく。（担当：竹吉）

2. 駅前商店街新事務所について

新事務所が番地登録された。⇒大津市馬場3丁目15番51号。

本事務所は一般社団法人の主たる事務所として登録し、バスの運行管理事務所や運転手の控え所として使用する方向で検討する。駅前商店街と使用契約の締結が必要。

3. 今後街づくり委員会の進め方などについての意見交換

今までの活動の反省点と今後の在り方につき、各委員から以下のような意見が出された。これらを踏まえ、目標達成に向け総力を挙げて行動することを確認した。

- ・委員会への出席率が悪い。人間関係の再構築が必要。
- ・理論が先行してなかなか具体的行動に結びつかない。
- ・当事者意識が薄い。
- ・船頭を多くしてはいけない。会長に強いリーダーシップを発揮して貰いたい。
- ・各検討Gは具体的行動内容を早急に整理し行程表を基に行動に入る必要がある。
- ・法人資格の取得を最優先すべきである。
- ・住民説明会は2段階方式がよい。第1段は夢を語り、第2段で具体的内容の議論。
- ・説明会で話す内容を整理すること。誰もが同じ内容になるように。
- ・運営組織の再整理が必要。

4. 具体的行動確認

① 定款について（担当：乾）

- ・目的に、交通弱者対応、福祉対応、環境対応等の内容を盛り込む。
- ・事業に、イベントの企画開催、学区の文化歴史を考える事業などを入れる。

- ・条文の文言を統一する。
- ・設立時理事は 3 人（雨宮、橋本、奥村）とする。（平野商店街からのメンバーも入れて 5 人とする案も出たが当面 3 人で進めることとした）

② 会費について（担当：？、定款とは別扱い）

法人のランニングコストとして人件費、事務費、会計処理委託費（73,500 円/年）など約年間 20 万円程度が見込まれる。

なお、初期投資として法人登記費用など約 35 万円（公証人 6 万円、法務局 6 万円、吉田さんへの手数料 10 万円、会計ソフト費用 15 万円）が必要。

これを念頭に、法人会費は個人会費と法人会費に分け、前者は月 500 円程度とする。⇒ただし、これでは個人会員を 20 名としても年間 12 万円程度にしかならない。法人会員を募り高額の会費を貰うか個人会費の値上げが必要である。

③ 検討 G のメンバー確認（担当：戸所）

従来のメンバー（'09-6-19 決定）を見直す。以下案。

運営組織検討 G：乾、竹吉、奥村、戸所、吉田（赤木×、森川×、大室×）

採算性検討 G：橋本、森、原田、西本、川上、堀井、植田、小川

運行検討 G：杉本、中井、上原、志賀、杉中、濱田、西村、井上、倉橋

学区民調査 G：戸所、+ α（大林×、泊×）

広報 G：戸所、乾、寺井、竹吉

次回例会（'10-2-4）で各検討 G より今後の予定を発表して貰う。

5. その他

① 平成 22 年度委員会について

- ・定例委員会は平成 22 年度は第 1、第 3 木曜日を開催日とする。
- ・準備委員会、検討 G 会等は必要に応じ随時開催する。

② 平野スポ少への寄付（雨宮会長）

平野スポ少がミニバスケットで県大会に優勝し、全国大会に出場が決定。各種団体に対し、寄付金の要請がありわが街つく会は 5000 円の寄付を行う。

③ 情報（雨宮会長）

- ・志賀町のバス自主運行事業は資金繰りが大変なようだ。
- ・富士見台では車を購入し、バス運行事業を行う話があるようだ。

以上